

みずほCustomer Desk Report 2019/09/26号(As of 2019/09/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.11
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.18	1.1014	118.04	1.2487	0.6798
SYD-NY High	107.88	1.1023	118.20	1.2493	0.6803
SYD-NY Low	107.00	1.0938	117.80	1.2349	0.6739
NY 5:00 PM	107.76	1.0942	117.96	1.2350	0.6750
NY DOW	26,970.71	162.94	日本2年債	-0.3400	▲2.00bp
NASDAQ	8,077.38	83.76	日本10年債	-0.2600	▲2.00bp
S&P	2,984.87	18.27	米国2年債	1.6795	5.39bp
日経平均	22,020.15	▲78.69	米国5年債	1.6083	8.01bp
TOPIX	1,620.08	▲2.86	米国10年債	1.7363	8.56bp
シカゴ日経先物	21,910	180	独10年債	-0.5790	2.25bp
ロンドンFT	7,289.99	▲1.44	英10年債	0.5310	0.45bp
DAX	12,234.18	▲72.97	豪10年債	0.9430	▲3.50bp
ハンセン指数	25,945.35	▲335.65	USDJPY 1M Vol	6.38	▲0.17%
上海総合	2,955.43	▲29.91	USDJPY 3M Vol	6.70	0.00%
NY金	1,512.30	▲27.90	USDJPY 6M Vol	6.78	▲0.04%
WTI	56.49	▲0.80	USDJPY 1M 25RR	-1.60	Yen Call Over
CRB指数	176.64	▲0.55	EURJPY 3M Vol	7.23	0.13%
ドルインデックス	99.04	0.70	EURJPY 6M Vol	7.33	0.10%

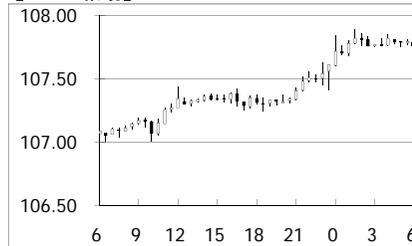
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月25日	21:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「直近の利下げは適切、当局は情勢見極めでいい位置に」	
	23:00	米 新築住宅販売件数	8月 713k	659k
	23:00	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	「利上げ中断への支持、過去の利上げの影響を見極めるため」	
	23:00	米 プレイナードFRB理事 講演	過剰な米企業借入れのリスクを指摘	

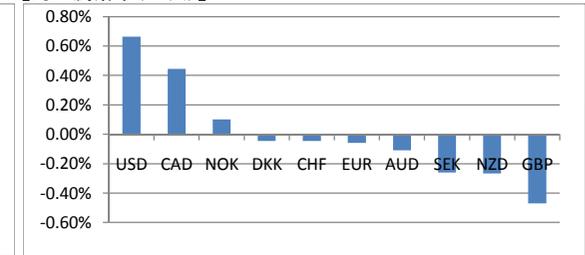
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月26日	21:30	米 GDP (前期比年率)・確報	2Q 2.00%	2.00%
	21:30	米 個人消費・確報	2Q 4.70%	4.70%
	21:30	米 コアPCE (前期比)・確報	2Q 1.70%	1.70%
9月27日	3:00	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演		
	5:30	米 パーキン・リッチモンド連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.20-108.20	1.0900-1.1000	117.50-118.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円は上昇した。米8月新築住宅販売件数が市場予想を上回った他、トランプ米大統領が中国との貿易合意が「ますます近づきつつある」と発言したこと等を受けて、ドル買いが強まり、ドル円は一時107.88円まで上昇。日米貿易協定が最終合意に至ったことも好材料として市場からは受け止められた。焦眉となったウクライナ問題についても、公開された会談記録にはトランプ米大統領がウクライナへの軍事支援の見返りに調査を求めた発言は見受けられなかったことから、ドル円はすぐに持ち直した。
本日のドル円は108円が意識されるも底堅い展開を予想。米中通商早期合意期待やドル高、米金利上昇を背景に底堅く推移しそう。ただし、引き続き米中通商問題に絡むヘッドラインには警戒しておきたい。

アジア	東京時間のドル円は107.18レベルでオープン。仲値にかけてドル売りが強まり107.00まで下落。しかし、その後は、米中貿易摩擦の緊張緩和や日銀の追加緩和への期待感が意識され、ドル円は反発し、一時107.43まで上昇。一巡後は107円台前半で動き薄となり、107.34レベルにてクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.34レベルでオープン。アジア時間に関係者筋の話として「中国が米国産豚肉の購入拡大を準備している」との一部報道が伝わったが、続報がなく、反応は長続きしなかった。オープンレベルで方向感無く推移し、107.41レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2465レベルでオープン。英銀の8月のクレジットカード融資額が、前年比3.3%増と、2015年2月以来で最低の伸びとなったことや、英家計の向こう12か月のインフレ期待が2.9%と、8月の3.2%から低下したこと等が嫌気されてか、1.2379まで下落。1.2382レベルでNYに渡った。(ロンドンタイムズ 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	トランプ大統領の弾劾に対する懸念から、昨日はドル売りが強まったものの、その後中国が米国産の豚肉をもっと購入する準備とのヘッドラインが伝わったことから、海外市場でドル円は107.30付近での推移が続き、107.41レベルでNYオープン。朝方は、米8月新築住宅販売件数が予想を上回り、これと同時に発表された電話会談記録によるとトランプ大統領がウクライナ問題について調査を求めたことが明らかになり、ドル円は上下するが、トランプ大統領はウクライナに対して一切圧力を掛けていないと発言したことや、ウクライナ問題から市場の注目を逸らさせるためか、「中国との通商協議はみんなが予想しているよりも早く合意に達する可能性」と話したことなどからドル買いが強まり、107.84まで上昇する。その後トランプ大統領が、日本との最初の段階の貿易合意を発表すると話したことなどから、107.88まで上伸する。午後は107.80付近での推移が続き、107.76レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買いが強まったことから、ギリ安で推移し、1.0980レベルでNYオープン。朝方は、狭いレンジでの推移が続くが、米中通商協議に対する期待感から、ドル買いが優勢となり、1.0940まで下落する。午後ユーロドルは上値を重く推移し、1.0938まで下落し、1.0942レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 菊池・綱島